

平成 30 年度第 3 回 駒ヶ根市地域公共交通協議会 会議録

平成 31 年 3 月 26 日(火) 午後 1 時 30 分～

駒ヶ根市役所 本庁舎 2 階 大会議室

1. 開会（企画振興課長）

2. 会長あいさつ

・平成 30 年度は、網形成計画の中間年度に当たりましたので、計画の運用状況や進捗状況の評価検証、市民の行動実体や意識を把握するための市民アンケート調査を実施し、今後の事業や次期計画の地域基礎データとして反映していくこととしております。

・今年 2 月には公共交通利用啓発事業として「バスのお試し利用と利用促進ワークショップ」を開催し、高齢者クラブの皆さんを中心に駒ヶ根高原までの乗車体験をしていただきました。現在協議会では、ロープウェイ線バスの生活路線としての利用について、日帰り温泉施設とのセット乗車券の販売などを検討しており、その実現に向けた課題を把握する良い機会となりました。

・飯島町の「いいちゃんバス」の駒ヶ根市内沿線上への停留所の設置について、駒ヶ根・飯島の両協議会において、検討を進める旨の合意をいただき、飯島町との具体的な協議を開始することが出来ました。

・本日は、こうした事業の状況報告に加え、「平成 31 年度の事業計画案及び予算案」、そして 4 月からの「運行業務委託業者案」、についてご協議いただきます。地域の公共交通全般や環境整備も踏まえ、ご意見等を頂戴したいと思いますので、よろしくお願い致します。

3. 協議事項

（1）平成 30 年度事業関連

① こまタク及びタクシー券事業

資料 1

・こまタク運行状況及びタクシー券利用状況

（事務局より資料を基に説明）

（会 長）質問・意見はありますか。

※意見無し

（会 長）またお気づきの等何かございましたら意見等出していただきたいと思います。

② 運転免許証自主返納支援事業

資料 2

(事務局より資料を基に説明)

(会長)・質問・意見はありますか。

(北原委員)・福祉タクシー券の交付枚数に比べ、利用枚数が少ない。この券が利用されていないということで、こまタクの未登録につながっている。また、登録をしても利用をしていない。高齢者や障がい者が社会参加しなくなることが危惧されるので、どんな対策をしていくかということを考えていただきたい。

(事務局)・自主返納をされた方に交付したものが実際の利用に結びついていないという部分ですが、自主返納されると警察署で支援事業のことを紹介していただき、その足で来庁され、こまタク乗車券交付の申請をされる、という方がほとんどです。自主返納された時点では、まだ家族に送迎を頼めるとい方がいらっしゃいますので、すぐにこまタクを利用しない方もいます。自主返納支援事業につきましては、自主返納してから1年以内に申請をしなければならないということですので、すぐにはこまタクを使わないが、支援事業の申請と同時に利用登録をされます。そこが実際の利用につながっていない一つの理由かと思えます。また、申請される方の中には、一人でタクシーに乗降できる状態ではない方が散見されます。そういったことも一つの理由になってくると考えます。

(市長)・自主返納される状況という、なかなか一人では乗降できない方が多い傾向にあるというのを聞いています。また、家族の送迎もできているということもありますので、実態を調査する中で検討していきます。

③ 主要事業報告

資料 3

・駒ヶ岳ロープウェイ線の昭和伊南病院経由、試運転結果

資料 3 - 1

(事務局及び伊東より資料を基に説明)

(会長)・質問・意見はありますか。

※意見無し

(会長)・今のダイヤの中でやらないと、他の機関にも影響がでてしまうということですので、ロープウェイ線バスの生活路線化を実現させるのは今の時点ではかなり難しいと考えます。ご提案のあった板橋下のバス停から病院へのアクセスについては検討していきたいと思えます。

(2) 平成 31 年度事業関連

① 駒ヶ根市地域公共交通協議会事業計画（案）

資料 4

② 駒ヶ根市地域公共交通協議会予算（案）

資料 5

（事務局より資料を基に説明）

（会 長）・質問・意見はありますか。

（古谷委員）・計画案の中に「地域での懇談会」とありましたが、3月に出た市報でこまたくを体験した方が自身の体験を話されたが、まだ利用方法がわかっていないということ、一人では難しいので二人で行ったら楽しかったと話していたので、地域の方々にも勧めていけたら良いと思いました。まだ運転している方はもちろん、社協の宅福便を使っている方もいますし、なかなか次のステップに進みにくいと思いますので、体験会をしたり、説明会をしたりしていく必要がある時期だと思います。

（事務局）・今運転されている方が、今のうちに公共交通に触れていくことが大事だと思います。ご意見いただいたように、今後地域へ出向いて説明をさせていただきたいと考えていますので、小さな集まりでも是非お声がけしていただければと思います。

（会 長）・その他に質問・意見はありますか。

※意見無し

・それでは、この案の承認いただいたということで「案」の字を消してください。

③ 上半期デマンド交通運行業務の委託業者（案）

資料 6

（事務局より資料を基に説明）

（会 長）・質問・意見はありますか。

※意見無し

・それでは、この案の承認いただいたということで「案」の字を消してください。運行業者の皆さん。引き続きよろしくお願いたします。

4. その他

（会 長）・以上をもちまして、予定している協議・報告事項が終了しました。全体を通して意見等ありますか。

（清水委員）・公共交通ワークショップに参加させていただいて、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。一緒に参加された方も割引券等が交

付されれば利用できるという人がおりました。路線の隣接する地区の人たちは大変歓迎しているようでありました。また、竜西地区からこまくさの湯まで行くような路線を考えていただければ、なおいいのではという意見が出ておりました。また、バスに乗ってお湯につかり、2時間ほど休憩して帰るということについてどうなんだと問いかけたところ、1000円くらいならいいのでは、という意見もありました。しかし、少し離れたところに住んでいる人たちからはバス停までどうやっていくんだ、バス停までいくならこまくさの湯に直接行った方がいいのではないかという話になってしまいました。元気のいい年寄りとそうでないのと二通りありますので、お湯を目的にしている人は路線バスを利用していただいて、元気のいい人は自家用車でいけばいいと思いました。免許証自主返納の促進についてですが、特に農家の人たちは離れた畑に行くとしても軽トラが必要だったり、トラクターなどの作業機を道路で運転するには免許が必要だったりするので、少し難しいとのこと。免許の返納については、家族の理解がある程度ないとダメだという意見がありました。どうしても、タクシーを呼んだけど時間制ということになると、時間に合える人はいいけどもう年を取ると気が短くなるのでそんなに待つのかという意見もあるので難しいところだと思います。ワークショップに参加した人には評価が高かったと思います。

(宮崎委員)・古谷委員から、宅福便という言葉が出たので、こまちゃん宅福便について、一点確認させてください。まず、宅福便というのはご近所等の方で、買い物に街へいく際、ついでに乗せていってもらおうという了解が得られれば乗せていってもらおうということです。送迎ということはしておらず、全て無償です。この宅福便について、もしお金を取って送迎するとなると違法になりますので、そういったことが絶対ないようにお願いします。こまちゃん宅福便には送迎という言葉はございませんので押さえていただきたいと思います。

(市長)・他にご意見等ないようでしたら、県から何か情報提供があればお願いします。

(清水委員)・ワークショップについて、前向きな意見が多く良いと思います。やって知ってもらって、初めて課題がでるのかなど。感想の方にもありましたが、ロープウェイ線は観光客用専用のバスだと思っていたというところですが、地元の方に見れば至極当たり前のことで話題にも

ならなかったと思いますが、このような形で知ってもらい、話に出てくるのはまず一つ大事だと思います。あるいは、生活路線としてロープウェイ線を使うには不十分だという意見もありますが、ここから始めて検討してこうやったら使えるようになるというような意見が出てくれば次のステップへ行けると思います。体験等がなければ結局机上の話になってしまうだけですので、このワークショップは非常に良かったと思います。高齢者の方からすると知らない、乗り慣れないという不安があるので、体験会等をこまめに開催することによって利用が深まっていくのかなと思います。まずは知ってもらい、体験していただき、課題について改善していくことが大事だと思います。また、免許返納の関係ですが、農業をやっている人は特に実際問題返納できないということがあると思います。話にもありましたが、返す前から使っていただくようにきっかけづくりをすることが大事だと思います。畑へ行くのは軽トラですが、帰ってきて汗を流すのならバスでこまくさの湯へ行く等。バスで汗流しにいくならお酒も飲んで帰れますよね。そういうような形でも話ができると思いますので是非周知を図っていただければと思います。また、いいちゃんバスの関係もあるかと思いますが、県としましては来年以降広域間連携のバスを検討していきたいです。市町村単独でのコミュニティバスの維持というのは困難になってきていると思いますので、こういった連携について研究していきたいと思いますのでまたよろしく願いいたします。

(市長) 以上をもちまして、全ての議事が終了いたしましたので協議を終了させていただきます。ありがとうございました。

5. 閉会（企画振興課長）